

令和2年2月3日

軽井沢町議会
議長 佐藤 敏明 様

赤井 信夫

研修報告書

- 1 日 時 令和2年1月30日（木）～31日（金）
- 2 場 所 東京都渋谷区
(1) 渋谷ヒカリエホール 9F
(2) ワークスモバイルジャパン株式会社 本社
- 3 研修内容

1日目 1月30日（木）16時～18時
内 容 「2020 LINE WORKS DAY」

テーマ LINE WORKS これまでの歩みと組織を成功に導く新しい世界
登壇者 ワークスモバイルジャパン株式会社 代表取締役社長 石黒 豊 氏

テーマ 「手間」から「手軽」に 新サービスの発表
登壇者 同社 マーケティング本部長 増田 隆一 氏

テーマ LINE WORKS があらゆる業務にツナガル世界 仕事タノシイ！ 雑務
ラクチン！
登壇者 同社 執行役員 福山 耕介 氏

テーマ スモールチームの経営者から学ぶ「ツナガル働きかた」
登壇者 同社 執行役員 萩原 雅裕 氏
ディーシーディーデザイン 代表 蝦名 晶子 氏
株式会社 PRiDE 代表取締役会長 白石 崇 氏
有限会社ケイ・ピー・ディー 代表取締役 加藤木 一明 氏

概 要

議会活性化のひとつの施策として、調査研究を進めている議会ICT化におけるグループウェアの試験導入に向け、LINE WORKS を候補にあげてきたが、その内容を確認する目的等のため、カンファレンスへの参加と研修を受講した。

石黒氏が登壇。これまでのサービス連携や同システムが目指す「はたらく仲間がツナガル世界」について講演。続いて、増田氏は、出張手続きの予約や各種手配など煩雑な内容を、チャットボット（自動応答システム）を使い、トーク画面で交通手配や宿泊予約、レストランや保険など出張手配を完了する体験を講演した。その後、福山氏は、様々なサービスがツナガルことで生まれるタノシイを紹介。出欠確認、安否確認、グループウェアやファイルストレージなどとすでに繋がっていると報告。また、「Dropbox」との連携を発表した。

また、萩原氏がパネリストとして、ゲストを招いて実際のユーザーの声を紹介した。ノート機能を積極活用。トークでは流れてしまう内容も、ノートに残せば振り返りや修正も簡単。また、カテゴリ機能でジャンル分けすることで、情報が整理される。導入によりスマホだけで仕事が進む。コミュニケーションが取りやすくなった。グループ機能を活用し、各グループを作成。それぞれの業務の進捗や確認などもスムーズに。責任者はそれぞれのグループを見守り、外部ともやりとりが可。スタッフの負担をどれだけ減らせるかを考えての活用を検討したい。とにかくメール対応、整理が大変だった。まず内部メールが減り、情報が伝わりやすく、外部ともやりとりするケースが増え、レスポンスが早くなった。各チームのグループのやりとりも、直接トークに投稿できる。修正指示などのやりとりがスピーディになった。など。

2日目 1月31日（金）10時～12時30分
内 容 「LINE WORKS セミナー&相談会」

テーマ LINE WORKS のシステム概要について（講義）
講 師 ワークスモバイルジャパン株式会社 戦略ビジネス事業部 マーケットデベロップメントマネージャー 松本 達也 氏

テーマ 試用システムの設定と使用方法等について（マン・トゥー・マン）
講 師 ワークスモバイルジャパン株式会社 戦略ビジネス事業部 マーケットデベロップメントマネージャー 松本 達也 氏

概 要

前半では、LINE WORKS のシステム概要について、実際のオフィスにおける日常的な作業項目（例：連絡、回覧、意見収集、行動予定、日程調整、書類整理など）をオンラインに置き換えた場合の、合理性や利便性などを説明。以下の内容での講義が進められた。

- ・ワークスモバイル とは？
- ・LINE WORKS とは

- ・ LINE との違い
- ・ 導入 実績
- ・ プラン について
- ・ LINE WORKS のはじめ方
- ・ LINE WORKS の使い方

また、自治体や議会（北海道美瑛町、大阪府大阪市、東京都杉並区議会など）の業務改革の事例等についての説明があった。

後半では、マン・ツアー・マンにて、試用に向けて構築したシステムの詳細設定、課題、疑問点等について質疑。試験導入時における注意点や手順等が中心となる講習を受講した。

◎考 察

議会活性化特別委員会において、議会へのICT導入についての様々な調査・研究を重ねてきたが、その中でもスケジュール管理を試行しながら、グループウェアに慣れて行くことで、ICT化の歩を進めるという点において、LINE WORKS を導入することが、比較的に参加者のハードルが低く（LINE の変化形であるため慣れ親しみやすい）、効果的であろうことを実感できたのが、今回のカンファレンスと研修に参加した最も大きな成果であった。

特に、研修にて疑問点となっていた課題についても、ほぼ解消されたこともあり、議会議員用の研修マニュアルやスケジュール策定において、非常に役立ったことは間違いない。これらに基づいて、ICT化を計画的に推進してゆくことに努めたい。

以上